

第 68 期 事 業 報 告 書

当年度の事業概要を次の通り報告いたします。

(2018年6月1日より2019年5月31日まで)

1. 自然科学関連知識の普及及び啓蒙

- 「サイエンスカフェ」は共催の三省堂書店と実施に向けて協議をしたが、実施には至らなかった。
- 「自然科学書協会講演会 2019」を開催した（文部科学省後援）。
 - ・日時：2019年4月21日（日） 15：00～16：30
 - ・会場：出版クラブホール・会議室
 - ・講師：下條 信輔 氏（カリフォルニア工科大学教授）
 - ・演題：「機械は人間を超えるか？～意識・倫理・創造性」
 - ・聴講者：143名

2. 自然科学関連図書等の国内外への広報及び普及

- 文字・活字文化推進機構等の活動に協調し、日本書籍出版協会（以下書協）をはじめとする出版界各団体が主催する諸事業に協力した。
- 「自然科学書フェア 2018」を開催した。
 - ・期日：2018年5月12日（土）～6月30日（土）
 - ・会場：ジュンク堂書店那覇店
 - ・テーマ：「知識がひろがる 未来がひらける 自然科学書フェア」
 - ・参加社数：47社
 - ・出展点数：1,298点
 - ・出品冊数：3,915冊
 - ・売上：639冊・1,658,739円
- 「自然科学書フェア 2019」を開催した。
 - ・期日：2019年5月11日（土）～7月15日（月）
 - ・会場：未来屋書店 りんくう泉南店
 - ・テーマ：「知識がひろがる 未来がひらける 自然科学書フェア」
 - ・参加社数：45社
 - ・出展点数：1,175点
 - ・出品冊数：1,584冊
- ブックフェア委員会（書協内）に委員とし参加した。
- 海外のブックフェアに出展し、会員社の出版物の普及を図った。
 - ・「第25回北京国際図書展示会」（BIBF2018）
 - 1社10冊まで1冊1,000円の出品補助金を出し、普及促進を図った。昨年同様出

品社及び出品のない会員社の目録をブース内に陳列・配布を行った。BIBF 日本事務局（トーハン）より 2 ブースが提供され、全点面陳で展示した。版權の問合せが 5 件あった。

- ・期日：2018 年 8 月 22 日（水）～26 日（日）
- ・会場：中国新国際展覽センター
- ・参加社数：17 社
- ・出品冊数：152 冊
- ・「第 70 回フランクフルトブックフェア」（FBF2018）
出版文化国際交流会の当協会・大学出版部協会の共同ブースに出品した。
 - ・期日：2018 年 10 月 10 日（水）～14 日（日）
 - ・会場：フランクフルトメッセ
 - ・参加社数：11 社
 - ・出品点数：28 点

○英文会員名簿並びに和文会員名簿を、ブックフェアなどを通じて国内外の出版社などに配布し、協会活動の周知と翻訳出版活動への情報を提供した。

3. 著作権・著作隣接権等の普及と啓発

○著作権の保護並びに著作物の適正利用を推進する活動を行った。

- ・改正著作権法第 35 条の運用に関して、利用者（大学教授）の団体である「大学学習資源コンソーシアム」と会合を行った。
- ・2018 年 7 月 13 日（金）に出版梓会、大学出版部協会との共催で「著作権法改正内容とそれがもたらすもの」と題して説明会を開催した（於日本出版会館）。
- ・著作権法第 35 条の改正に関して運営され、参加していた「教育利用に関する著作権等管理協議会」の「一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）」への移行に際して、その構成団体として設立された「出版教育著作権協議会」へ参加した。

○その他、著作権に関連した活動を行った。

- ・出版者著作権管理機構（JCOPY）の構成団体の一員として運営に協力した。

4. 自然科学の振興に功績のあった者及び自然科学書出版に特に貢献をした者の顕彰

○文部科学大臣表彰科学技術賞の推薦団体として会員社から当該表彰候補を募ったが、応募がなかったため推薦を見送った。

5. 出版文化向上のための研究会・講演会等の開催及び関連団体との交流

○東京都印刷工業組合出版メディア協議会主催の「第 21 回出版・印刷人の集い」に出版梓会と共に協賛し、講演会を開催した。

- ・日時：2018 年 11 月 20 日（火）16：00～17：30

- ・会場：出版クラブホール・会議室
- ・講師：堀 鉄彦 氏（株式会社コンテンツジャパン 代表取締役）
- ・演題：「ブロックチェーンは出版ビジネスに何をもたらすのか？」

○当協会主催で、下記の研修会を開催した。

- ・日時：2018年7月18日（水）15：30～17：00
- ・会場：出版クラブホール・会議室
- ・講師：高橋 桐生 氏（株式会社 出版デジタル機構）
藤吉 信仁 氏（株式会社 出版デジタル機構）
- ・演題：「デジタル技術を活用した出版ビジネス支援ソリューションのご紹介」
（POD と NetGalley）
- ・参加者：23社・32名

※出版梓会との共催

- ・日時：2018年9月14日（金）15：30～17：00
- ・会場：文化産業信用組合3階会議室
- ・講師：松本 祥太郎 氏（株式会社 NOMAL）
- ・演題：「出版業界（中小出版社）における人材採用強化施策について」
- ・参加者：19社・29名

- ・日時：2018年12月6日（木）16：30～17：30
- ・会場：如水会館1階如水コンファレンス
- ・講師：丸島 基和 氏（株式会社 新文化通信社）
- ・演題：「2019年出版業界を占う！」
- ・参加者：29社・56名

- ・日時：2019年3月13日（水）15：30～17：00
- ・会場：出版クラブホール・会議室
- ・講師：大野 繁治 氏（株式会社 紀伊國屋書店）
西田 和之 氏（株式会社 紀伊國屋書店）
- ・演題：「学術書電子化の海外動向最前線と日本の取り組みへのヒント」
- ・参加者：24社・40名

※出版梓会との共催

6. 機関紙・図書等の編集発行及びホームページの管理運営

○会報を年3回発行した（2018年9月、2019年1月、7月予定）。

- ・主な記事は次の通り。

理事会の動向や決定の周知／各委員会の活動報告／講演会および研修会の要約／

国際ブックフェアの報告など

- ・自然科学知識の普及、活動の告知、会員増強などのために会員者のみならず各出版関連団体へも送付した。

○ホームページを常に最新の状態にして、外部への情報発信を行った。

- ・協会の概要を掲載し、常に更新した。
- ・自然科学書協会講演会への参加申込みサイトを期間限定で掲載した
- ・会報の PDF 版を掲載した。

7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

○消費税の出版物への軽減税率適用に関する取り組みについて、書協を中心とした活動を支えながら、有害図書排除の仕組みを理解して、軽減税率適用を推し進めてきた。しかし 2018 年 12 月に発表されたように消費税率アップ時（2019 年 10 月 1 日）の出版物への軽減税率適用については、「引き続き継続課題」となった。大変残念な結果ではあるが、引き続き軽減税率適用の取り組みに協力しながら注視していく。

○出版界で行う諸事業（全出版人大会の開催、出版平和堂の活動など）に協力した。

- ・2019 年 5 月 8 日（水）に、第 58 回全出版人大会がホテルニューオータニで開催され協賛団体として協力した。
- ・2018 年 10 月 5 日（金）に、出版平和堂第 50 回出版功労者顕彰会が執り行われ、出版平和堂維持団体として運営に協力した。

○今期の活動状況を業界紙等に報道依頼し、活動並びに存在意義を広く告知した。

以 上

事業報告附属明細書

該当なし